

「全鍍連」 2025年 10月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際委員 下島 聡（塚田理研工業㈱ 代表取締役社長）

「アルプスに育まれた水と酒のまち」



私のふるさと、長野県駒ヶ根市は、南アルプスと中央アルプスという二つの山脈に抱かれた、自然豊かな町です。中央アルプスに積もった雪は、長い年月をかけて地下に染み込み、数百年かけて濾過され、澄んだ地下水として私たちのもとに届きます。

この地下水は数百メートルの地中から汲み上げられており、年間を通して水温は 14～15 度前後。夏はひんやりと、冬はほんのり温かく感じる、まさに天然の恵みです。「めっきは水に始まり水に終わる」と言われるほど、水は私たちの産業にとっても欠かせない存在。当社では、この飲料にも適した地下水を、源泉かけ流しのような形で工程水として活用しています。自然の恵みに心から感謝しています。

この豊かな水資源豊富なこの地域、近隣 4 市町村（宮田村、中川村、駒ヶ根市、飯島町）の頭文字をとった愛称で、「みなこい地域」とも呼ばれています。「みんな来て！」という想いもこめられたこの地域、実は全国的にも珍しい多種多様なお酒が製造されている地域でもあるんです。ビール、ウイスキー、日本酒やジン、ワイン、リキュールなど多様な酒蔵や醸造所が存在しています。



知名度 No1 で言えば草刈正雄さんの CM で有名な「養命酒」。養命酒はこの地で生まれ、今でも製造はこの駒ヶ根市で行われています。昔は一家に一本は必ずあったかと思います。今ではそこまでの知名度はないかもしれませんが、工場には自然体験施設やオーガニックレストランが昨年新たに新設され、有名な観光スポットにもなっています。ウイスキーではローカルウイスキーとしては結構知名度高めめの「マルスウイスキー」の蒸留所があります。当社へお越しいただくお客様はだいたいこの蒸留所でお土産を買われていますよ。限定ウイスキーなんかも運が良ければ出会えるかも！

日本酒では駒ヶ根市の長生社さんの「信濃鶴」。徹底して純米酒にこだわり、独特の風味、香りは地元の郷土料理との相性は抜群。ほとんど地元以外では流通していなかったのですが、訪れた方々から評判となり、今では東京の有名店にも置かれることも。もう一つ有名な酒蔵はお隣中川村にある米澤酒造さんの「今錦」。「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞も受賞している伊那食品工業さんが運営する酒蔵。どちらかというと濃い味の旨口タイプで、様々な海外での賞を取りまくりです。他にも南信州ビールやみやだワイン、養命酒工場では様々な賞を受賞しているクラフトジンも駒ヶ根市で製造しています。

決して交通の便が良いとは言えず、特別な観光資源も多いわけではない地域ですが、水と空気の清らかさは、どこにも負けません。この恵まれた自然が育んだお酒を、ぜひ味わいにお越しください！

あ！それともう一つ、「ソースカツ丼」もめちゃくちゃ美味しいですよ！本場福井県にも決して負けてない！？ かな。

